

	1	2・3	4・⑤
学習の展開と学習活動	健康課題 ずっと健康な生活を送ることができるかどうか		
	1 自分の健康について振り返る。	問い けがを防ぐにはどうすればよいのだろうか？	1 けがをしたときの対処の経験を想起する。【第4時】 問い けがの悪化を防ぐにはどうすればよいのだろうか？
	2 ずっと健康な生活を送るにはどうしたらよいかを話し合う。 ・ けがをしないようにする ・ 病気にかからないようにする ・ ストレスをためない ・ 規則正しい生活をする など	1 問いを共有する。【第2時】 2 生活にひそんでいる危険を探り、 ・ 教室、廊下、階段、運動場 ・ 新1年生のためにという視点 3 グループごとに危険と対策をまとめる。 廊下の右側を歩いていないと、曲かってしまう。走っているともっとがり角から人が出てくるかもしれない 付けてきちんと右側を歩くことが大 がり角でぶつ 危ないよ。曲 いから、気を 切だよ。	2 問いを共有する。 3 手当の仕方について調べてまとめる。(グループで) 〈 すりきず・切りきず、鼻血、やけど、打ぼく・つき指・ねんざ 〉 ・ 教科書、図書資料、タブレット型端末、養護教諭の話を参考にして調べる。 4 調べたことを発表し、実習する。【第5時】 すりきずをほうっておくと細菌に感染し、傷口が化膿してしまいます。だから、細菌感染を防ぐために、清潔な水でしっかり汚れを落とすことが大切です。そして、ガーゼなどを当てて傷口を保護します。
	3 けがをした経験を話し合う。 問い どうしてけがをするのだろうか？ 4 なぜけがをしたのかを話し合う。 廊下を走っていて人にぶつかってけがをしてしまったことがあるよ。早く遊びにいきたくて急いでいたな。	4 発表し、共有する。【第3時】 ・ 危険予測 ・ 的確な判断 ・ 安全な行動 ・ 環境を整える 5 今の自分の生活を見直す。 1年生のころは曲がり角から人がとは考えずに廊下を走っていたな。生の今なら、曲がり角から人が出られないと予測できるな。急いできちんと右側を歩くようにしよう。 出てくるでも5年くるかもでも、き	5 けがをしてしまったらどうすればよいかを話し合う。 ・ 実際にけがが起こった事例について、グループで話し合う。 6 まとめをする。 7 振り返りをする。
	【追究のための手がかり】 ・危険 ・対策		
学びの姿	・ けがをした理由を仲間分けすることで、原因について考える。	・ けがが多い場所の危険の原因を考 ・ 知識を活用して、どうすれば新1ように行動すればよいかということ	え、その対策について追究する。 年生のけがを防げるか、自分はどのを追究する。
主な教師の支援	・ なぜけがをしたのかを話し合う際には、理由を仲間分けすることで、けがは人の行動と環境が関わりあって起こることに気付 ・ けがを防止するための課題を明確につかむことができるようにする。 ・ 危険、対策という追究の手がかりを明確にすることで、見通しをもって課題を追究していくことができるようにする。	・ グループで分担してけがが多い場で場に応じた多様な危険回避の方 ・ 1年生のころと今の自分とを比較自分の生活を振り返り、より自分のにする。 ・ 振り返りの際に、「ぼくとわたしの書くようにすることで、学習後のにする。	・ 手当の仕方を実習する際には、応急手当のための用具や用品を実際 ・ 具体的な場面を設定してけがの対処の仕方を考える場を設定することで、得た知識を活用して適切な対処の仕方を考え、実生活に生かすことができるようにする。
計画評価	サ	ア・カ ・キ・シ	イ・カ・キ・シ

